

資料 6

国の基本指針における成果目標（市町村関係部分を抜粋）

項目 ※ゴシック部分が前期からの追加・変更		5期（H30-R2）	6期（R3-R5） ※ゴシック部分が前期からの追加・変更
①	施設入所者の地域生活への移行	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行者数：H28末施設入所者の9%以上 ・施設入所者数：H28末の2%以上削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行者数：<u>R1末施設入所者の6%以上</u> ・施設入所者数：<u>R1末の1.6%以上削減</u>
②	精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置 	
③	地域生活支援拠点等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村または各圏域に少なくとも1つ整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村または各圏域に1つ以上確保しつつ、<u>その機能充実のため、年1回以上運用状況を検証・検討する。</u>
④	福祉施設から一般就労への移行	<ul style="list-style-type: none"> ・一般就労への移行者数：H28の1.5倍 ・就労移行支援事業利用者：H28の2割増 ・就労定着支援1年後の就労定着率：80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般就労への移行者数：<u>R1の1.27倍</u> ・就労移行支援事業利用者：<u>R1の1.30倍</u> ・就労継続支援A型：<u>R1の1.26倍以上</u> ・就労継続支援B型：<u>R1の1.23倍以上</u> ・就労定着支援：<u>R5の一般就労移行者数の7割が利用</u>
⑤	障がい児支援の提供体制の整備等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援センターを各市町村に少なくとも1カ所設置 ・保育所等訪問支援を利用できる体制を各市町村で構築 ・主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所、放課後等デイサービスを各市町村に少なくとも1カ所確保 ・医療的ケア児支援の協議の場の設置（H30末まで） 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援センターを各市町村に少なくとも1カ所設置 ・保育所等訪問支援を利用できる体制を各市町村で構築 ・主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所、放課後等デイサービスを各市町村に少なくとも1カ所確保 ・<u>保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関等が連携を図るための協議の場の設置</u> ・医療的ケア児等に関するコーディネータの配置
⑥	相談支援体制の充実・強化等 （第6期新規）	/	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度末までに各市町村または各圏域において、総合的・専門的な相談支援の実施および地域の相談支援体制の強化を行うことを基本とする。
⑦	障がい福祉サービス等の質の向上 （第6期新規）	/	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの質の向上を図るための取り組みに係る体制の構築 ⇒都道府県が実施する障がい福祉サービス等に係る研修その他の研修への市町村職員の参加 障害者自立支援審査支払等システム等による審査結果を分析して、その結果を活用し、事業所や関係自治体等と共有する体制の構築

1. R3年度数値目標設定項目

項目	数値	単位	数値の考え方	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	平均	1人当たり	5期計画最終目標(R2)	令和2年度見込み	令和3年度見込み	令和4年度見込み	令和5年度見込み	目標値の考え方(国の基本指針)	本市の見込方法	
①	施設入所者の地域生活への移行	実人員	人	年間実績	3	0	1	-	-	H29~R2で7(R2は2)	1	1	1	2	令和元年度末の施設入所者の6%以上が地域生活へ移行	R1年度末時点の施設入所者数69人の6%以上がR5年度末までに地域生活へ移行(計5人 R2年度1人、R3年度1人、R4年度1人、R5年度2人)
	施設入所支援	施設入所支援	人	3月末時点の人数	71	73	69	71	-	H28⇒R2で△2(R2は71)	69	69	69	67	令和元年度時点から1.6%以上削減することを基本。	現利用者69人から地域移行の目標を踏まえ、R5で2人減少を見込む。(R5でR1対比2.9%減)
③	地域生活支援拠点等の整備	設置数	か所	年間実績	1	1	1	1	-	1	1	1	1	1	各市町又は圏域に少なくとも1つ	事業の維持(H29年度、圏域に1箇所整備済み)
	機能の充実に向けた検証及び検討の実施回数	実施回数	回	年間実績	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	機能の充実に向けた検証及び検討の実施回数	「機能の充実に向けた検証及び検討」を自立支援協議会(圏域)で年1回実施することを見込む。
④	福祉施設から一般就労への移行	実人員	人	年間実績	5	1	8	5	-	4	/	/	/	11	令和元年度実績の1.27倍以上が一般就労への移行	R5年度中の移行者数をR1年度実績の1.375倍(8⇒11人)とする。
	就労移行支援事業	利用人数	人	3月分の実績	5	2	4	4	-	12	4	5	5	6	令和元年度実績の1.30倍以上の移行実績	現利用者(R2)はR1年度実績(4人)程度と見込み、R3、R4を5人、R5を6人(R1年度実績の1.30倍以上、1.5倍(4⇒6人))とする。
④	就労継続支援A型	利用人数	人	3月分の実績	23	21	15	20	-	31	15	16	17	19	令和元年度実績の1.26倍以上の利用	現利用者(R2)はR1年度実績(15人)程度と見込み、R3年、R4は年1人増、R5は年2人の増加を見込む。(R5でR1対比利用者26%増)
	就労継続支援B型	利用人数	人	3月分の実績	140	150	150	147	-	144	150	160	170	185	令和元年度実績の1.23倍以上の利用	現利用者150人からR3以降は年10人、R5は15人の増加を見込む。(R5でR1対比利用者23%増)
④	就労定着支援事業	利用人数	人	3月分の実績	-	1	1	1	-	6	2	4	6	8	一般就労移行者のうち、7割が就労定着支援事業を利用する。	現利用者(R2)はR1年度実績(1人)より1人増加するものと見込み、R3以降は2人ずつ増加すると見込む。最終的にR5で施設から一般就労する見込数の7割が利用継続すると見込むとともに(11人×0.7=8人)
⑤	重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所	事業所数	か所	3月末時点	0	0	1	-	-	-	1	1	1	1	R1年度に1カ所を県指定⇒今後も1カ所を見込む。	
	重症心身障がい児を支援する放課後等デイサービス事業所	事業所数	か所	3月末時点	0	0	1	-	-	-	1	1	1	1	R1年度に1カ所を県指定⇒今後も1カ所を見込む。	
	医療的ケア児に対する関連分野支援コーディネーター	配置人数	人	3月末時点の人数	0	0	1	-	-	1	1	1	1	1	R1年度にコーディネーターを設置(1名選出)⇒今後も1名を見込む。	

※その他新制度等への対応：精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築、児童発達支援センターの整備、保育所等訪問支援事業所を実施する体制、保健・医療・障がい福祉・保育・教育等の関係機関等が連携を図るための協議の場、相談支援体制の充実・強化等
障がい福祉サービス等の質の向上を図るための取り組みにかかる体制の構築など
⇒ 中讃東圏域地域自立支援協議会等を活用し、広域的な整備の在り方を検討

2. 障がい福祉サービス等の見込み量(活動指標)

項目	数値	単位	数値の考え方	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	平均	1人当たり	5期計画最終目標(R2)	令和2年度見込み	令和3年度見込み	令和4年度見込み	令和5年度見込み	目標値の考え方	本市の見込方法			
訪問系サービス	居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援	総利用時間数	時間	3月分の実績	2038.75	1716.75	1850.5	1869	18	2090	1880	1910	2090	2120	現に利用している者の数、障害者等のニーズ等を勘案して、利用者数及び量の見込みを設定する。	-		
		利用人数	人	3月分の実績	104	103	104	104	-	99	104	106	109	111				
	居宅介護	総利用時間数	時間	3月分の実績	1077.25	1111.25	1232	1140	14	1250	1240	1270	1300	1330			現利用者(R2)はR1年度実績(81人)程度と見込み、R3以降は年2人(30日)の増加を見込む。(アンケート問20のニーズ希望より、増加を見込む。)	
		利用人数	人	3月分の実績	82	82	81	82	-	74	81	83	85	87				
	重度訪問介護	総利用時間数	時間	3月分の実績	560	215.5	232	336	168	330	240	240	240	240			現利用者2人の利用継続を見込む。	
		利用人数	人	3月分の実績	3	2	2	2	-	3	2	2	2	2				
	同行援護	総利用時間数	時間	3月分の実績	323.5	323	326	324	18	270	330	330	330	330			R1年度実績(19人)と同程度にて推移すると見込む。	
		利用人数	人	3月分の実績	17	17	19	18	-	18	19	19	19	19				
	行動援護	総利用時間数	時間	3月分の実績	78	67	60.5	69	35	90	70	70	70	70			過去3カ年の平均を見込む。	
		利用人数	人	3月分の実績	2	2	2	2	-	3	2	2	2	2				
重度障害者等包括支援	総利用時間数	時間	3月分の実績	0	0	0	0	-	150	0	0	150	150	将来的に利用者1名を見込む。(前期目標と同様)				
	利用人数	人	3月分の実績	0	0	0	0	-	1	0	0	1	1					
日中活動系サービス等	生活介護	サービス利用量	人日分	3月分の実績	2700	2611	2660	2657	20	-	2660	2680	2700	2720	令和元年度実績の1.30倍以上の移行実績	現利用者(R2)はR1年度実績(134人)程度と見込み、R3以降は年1人(20日)の増加を見込む。		
		利用人数	人	3月分の実績	135	134	134	134	-	133	134	135	136	137				
	自立訓練(機能訓練)	サービス利用量	人日分	3月分の実績	22	39	0	20	20	-	0	20	20	20			R3年度から1名(20日)の利用を見込む。	
		利用人数	人	3月分の実績	1	2	0	1	-	1	0	1	1	1				
	自立訓練(生活訓練)	サービス利用量	人日分	3月分の実績	18	17	16	17	17	-	20	20	40	40			現利用者(R2)はR1年度実績(1人)程度と見込み、R4以降は1人(20日)の増加を見込む。(アンケート問20のニーズ希望より、増加を見込む。)	
		利用人数	人	3月分の実績	2	1	1	1	-	5	1	1	2	2				
	就労移行支援(再掲)	サービス利用量	人日分	3月分の実績	82	25	50	52	13	-	50	70	70	70			現利用者(R2)はR1年度実績(4人)程度と見込み、R3、R4を5人(60日)、R5を6人(70日、R1年度実績の1.30倍以上、1.5倍(4⇒6人))とする。	
		利用人数	人	3月分の実績	5	2	4	4	-	12	4	6	6	6				
	就労定着支援事業(再掲)	利用人数	人	3月分の実績	-	1	1	-	-	6	2	4	6	8			現利用者(R2)はR1年度実績(1人)より1人増加するものと見込み、R3以降は2人ずつ増加すると見込む。最終的にR5で施設から一般就労する見込数の7割が利用継続すると見込むとともに(11人×0.7=8人)	
	就労継続支援A型(再掲)	サービス利用量	人日分	3月分の実績	448	420	276	381	19	-	300	320	340	380			令和元年度実績の1.26倍以上の利用	現利用者(R2)はR1年度実績(15人)程度と見込み、R3年、R4は年1人増(20日)、R5は年2人増(40日)を見込む。(R5でR1対比利用者26%増)
		利用人数	人	3月分の実績	23	21	15	20	-	31	15	16	17	19				
	就労継続支援B型(再掲)	サービス利用量	人日分	3月分の実績	2322	2402	2522	2415	16	-	2600	2750	2900	3125			令和元年度実績の1.23倍以上の利用	現利用者150人からR3以降は年10人(150日)、R5は15人(225日)の増加を見込む。(R5でR1対比利用者23%増)
利用人数		人	3月分の実績	140	150	150	147	-	144	150	160	170	185					

項目		数値	単位	数値の考え方	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	平均	1人当たり	5期計画最終目標(R2)	令和2年度見込み	令和3年度見込み	令和4年度見込み	令和5年度見込み	目標値の考え方	本市の見込方法	
サロ ー ビ ス 系	療養介護	利用人数	人	3月分の実績	19	18	18	18	-	17	18	18	18	18	現に利用している者の数、障害者等のニーズ等を勘案して、利用者数及び量の見込みを設定する。	現利用者18人の利用継続を見込む。	
	短期入所(福祉型)	サービス利用量	人日分	3月分の実績	228	175	157	187	5	-	160	172	184	196		現に利用している者の数、障害者等のニーズ等を勘案して、利用者数及び量の見込みを設定する。	現利用者(R2)はR1年度実績(31人)程度と見込み、R3以降は年2人(12日)の増加を見込む。(アンケート問20のニーズ希望より、増加を見込む。)
		利用人数	人	3月分の実績	42	42	31	38	-	45	31	33	35	37			
	短期入所(医療型)	サービス利用量	人日分	3月分の実績	0	4	0	1	1	-	-	1	3	3		3	現に利用している者の数、障害者等のニーズ等を勘案して、利用者数及び量の見込みを設定する。
利用人数		人	3月分の実績	0	2	0	1	-	1	1	1	1	1				
居 住 系 サ ー ビ ス	共同生活援助	実利用者数	人	3月末時点の人数	84	87	87	86	-	89	95	101	105	106	令和元年度時点から1.6%以上削減することを基本。	現利用者87人から地域移行の目標を踏まえるとともに、(福)若竹会のR1新築、R2用途変更、(福)楽笑福祉会のR2建設計画も考慮し、R2以降の増を見込む。⇒ R2:+8, R3:+6, R4:+4, R5:+1	
	施設入所支援(再掲)	施設入所支援	人	3月末時点の人数	71	73	69	71	-	71	69	69	69	67		現利用者69人から地域移行の目標を踏まえ、R5で2人減少を見込む。(R5でR1対比2.9%減)	
	自立生活援助	実利用者数	人	3月分の実績	-	0	0	-	-	3	0	1	2	3		R3を1人と見込み、以降は年1人の増加を見込む。(前計画と同じ)(アンケート問20のニーズ希望より、増加を見込む。)	
相 談 支 援	計画相談支援	利用人員	人	3月末時点の人数(給付決定者)	485	500	491	492	-	490	500	505	510	515	現に利用している者の数、障害者等のニーズ等を勘案して、利用者数及び量の見込みを設定する。	現利用者(R2)を500人(R1より9人増)と見込み、R3以降は年5人の増加を見込む。(アンケート問20のニーズ希望より、増加を見込む。)	
	地域移行支援	利用人員	人	3月末時点の人数(給付決定者)	0	0	0	0	-	1	0	1	1	1		R2年度から1人の利用を見込む。	
	地域定着支援	利用人員	人	3月末時点の人数(給付決定者)	0	0	0	0	-	1	0	1	1	1		R2年度から1人の利用を見込む。	
障 が い 児 通 所 支 援	児童発達支援	サービス利用量	人日分	3月分の実績	145	99	154	133	7	-	170	178	186	194	現に利用している者の数、障害者等のニーズ等を勘案して、利用者数及び量の見込みを設定する。	現利用者(R2)を22人(R1より2人増)と見込み、R3以降は年1人(8日)の増加を見込む。(アンケート問20のニーズ希望より、増加を見込む。)	
		利用人数	人	3月分の実績	21	14	20	18	-	22	22	23	24	25			
	医療型児童発達支援	サービス利用量	人日分	3月分の実績	0	0	0	0	-	-	10	10	10	10		現利用者1人の利用継続を見込む。	
		利用人数	人	3月分の実績	0	0	0	0	-	0	1	1	1	1			
	放課後等デイサービス	サービス利用量	人日分	3月分の実績	575	747	847	723	11	-	900	920	940	960		現利用者(R2)を74人(R1より5人増)と見込み、R3以降は年2人(20日)の増加を見込む。	
		利用人数	人	3月分の実績	53	67	69	63	-	56	74	76	78	80			
	障害児相談支援	利用人員	人	3月末時点の人数(給付決定者)	80	97	115	97	-	86	124	127	130	133		現利用者(R2)を120人(R1より9人増)と見込み、R3以降は年3人の増加を見込む。(児童発達と放課後等デイなどの増分考慮)(アンケート問20のニーズ希望より、増加を見込む。)	
		サービス利用量	人日分	3月分の実績	0	0	0	0	-	-	1	1	1	1		1人(1日)の利用を見込む。 (拡充前の制度で過去に支給決定実績があるが、利用実績はなし)※乳児院・児童養護施設を対象拡大。	
	保育所等訪問支援	サービス利用量	人日分	3月分の実績	0	0	0	0	-	-	1	1	1	1		1	1
		利用人数	人	3月分の実績	0	0	0	0	-	1	1	1	1	1		1	
居宅訪問型児童発達支援	サービス利用量	人日分	3月分の実績	-	0	0	-	-	-	-	8	8	8	8	2人(8日)の利用を見込む。 (サービス対象となる児童数)		
	利用人数	人	3月分の実績	-	0	0	-	-	2	2	2	2	2	2			
医療的ケア児に対する関連分野支援コーディネーター(再掲)	配置人数	人	3月末時点の人数	0	0	1	-	-	1	1	1	1	1	1	R1年度にコーディネーターを設置(1名選出) ⇒ 今後も1名を見込む。		

3. 地域生活支援事業の見込み量(活動指標)

項目		数値	単位	数値の考え方	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	平均	1人当たり	5期計画最終目標(R2)	令和2年度見込み	令和3年度見込み	令和4年度見込み	令和5年度見込み	目標値の考え方	本市の見込方法
新	理解促進研修・啓発事業	事業数	件	年間実績	0	0	0	0	-	-	1	1	1	1	現に利用している者の数、障害者等のニーズ等を勘案して、利用者数及び量の見込みを設定する。	R2年度から1事業の実施を見込む。
	自発的活動支援事業	委託等事業所数	件	年間実績	0	0	0	0	-	-	1	1	1	1		R2年度から1カ所の委託を見込む。
	障害者相談支援事業	委託事業所数	件	年間実績	11	11	11	11	-	11	11	11	11	11		現在11カ所の委託継続を見込む。
	基幹相談支援センター等機能強化事業	利用件数	件	年間実績	0	0	0	0	-	-	0	0	0	0		R5年度までに1カ所の委託(圏域)を見込む。
	成年後見制度利用支援事業	利用件数	件	年間実績	3	1	1	2	-	3	1	2	2	2		現利用者1人から2人へ増加を見込む。
	意思疎通支援事業															
新	手話通訳者、要約筆記者の派遣	利用件数	件	年間実績	18	16	5	13	-	75	18	18	18	18	現に利用している者の数、障害者等のニーズ等を勘案して、利用者数及び量の見込みを設定する。	過去3カ年の最大値を見込む。
		手話通訳者設置事業	手話通訳者配置人数	人	通年	1	1	1	1	-	-	1	1	1		1
	(日具)介護・訓練支援用具	利用件数	件	年間実績	4	4	2	3	-	2	4	4	4	4		過去3カ年の最大値を見込む。
	(日具)自立生活支援用具	利用件数	件	年間実績	4	8	7	6	-	6	6	6	6	6		過去3カ年の平均を見込む。
	(日具)在宅療養等支援用具	利用件数	件	年間実績	7	5	2	5	-	5	5	5	5	5		過去3カ年の平均を見込む。
	(日具)情報・意思疎通支援用具	利用件数	件	年間実績	23	28	19	23	-	14	23	23	23	23		過去3カ年の平均を見込む。
	(日具)排泄管理支援用具	利用件数	件	年間実績	1318	1335	1219	1291	-	1400	1300	1300	1310	1310		過去3カ年の実績から増加を見込む。
	(日具)住宅改修費	利用件数	件	年間実績	1	1	0	1	-	1	1	1	1	1		過去3カ年の平均を見込む。
	手話奉仕員養成研修事業	利用件数	件	年間実績	1	1	3	2	-	2	2	2	2	2		前期目標と同様に2人を見込む
	移動支援事業	総利用時間	時間	年間実績	5272	4902	5052	5075	56	6620	5100	5220	5340	5460		現利用者(R2)はR1年度実績(90人)程度と見込み、R3以降は年2人(120時間)の増加を見込む。(アンケート問20のニーズ希望より、増加を見込む。)
実人員		人	年間実績	95	88	90	91	-	-	90	92	94	96			

項目	数値	単位	数値の考え方	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	平均	1人当たり	5期計画最終目標(R2)	令和2年度見込み	令和3年度見込み	令和4年度見込み	令和5年度見込み	目標値の考え方	本市の見込方法		
地域活動支援センター機能強化事業	サービス利用量	人	3月分実績の1日当たりの利用量(延べ利用者数/開所日数)	31	42	40	38	-	-	40	40	40	40	現に利用している者の数、障害者等のニーズ等を勘案して、利用者数及び量の見込みを設定する。	-		
	実人員	人	3月分の実績	97	109	92	-	-	-	92	92	92	92				
	I型	サービス利用量	人	3月分実績の1日当たりの利用量(延べ利用者数/開所日数)	21	29	28	26	-	-	28	28	28			28	R1年度実績(28人)で同推移すると見込む。
		実人員	人	3月分の実績	64	69	60	-	-	-	60	60	60			60	R1年度実績(60人)で同推移すると見込む。
		施設数	か所	3月時点における利用可能施設数	4	4	4	4	-	4	4	4	4			4	4カ所の利用継続を見込む。(中讃、わかたけ、ライブ、はなぞの)
	II型	サービス利用量	人	3月分実績の1日当たりの利用量(延べ利用者数/開所日数)	9	11	10	10	-	-	10	10	10			10	R1年度実績(10人)で同推移すると見込む。
		実人員	人	3月分の実績	31	36	29	32	-	-	29	29	29			29	R1年度実績(29人)で同推移すると見込む。
		施設数	か所	3月時点における利用可能施設数	2	2	2	2	-	2	2	2	2			2	2カ所の利用継続を見込む。(身体障害者サービスセンター坂出、さくらとおりーぶ)
	III型	サービス利用量	人	3月分実績の1日当たりの利用量(延べ利用者数/開所日数)	1	2	2	2	-	-	2	2	2			2	R1年度実績(2人)で同推移すると見込む。
		実人員	人	3月分の実績	2	4	3	3	-	-	3	3	3			3	R1年度実績(3人)で同推移すると見込む。
		施設数	か所	3月時点における利用可能施設数	2	1	1	1	-	2	1	1	1			1	1カ所の利用継続を見込む。(たつのこ作業所)
	任意事業																
新 新 新	福祉ホーム	実人員	人	3月分の実績	3	3	3	3	-	-	3	3	3	3	現に利用している者の数、障害者等のニーズ等を勘案して、利用者数及び量の見込みを設定する。	R1年度実績(3人)で同推移すると見込む。	
	訪問入浴	総利用回数	人日分	年間実績	334	219	123	225	56	-	120	120	120	120		現利用者2人(年120回)で同推移すると見込む。	
		実人数	人	年間実績	6	4	3	4	-	-	2	2	2	2			
	日中一時支援	総利用回数	回	年間実績	456	631	645	577	22	-	650	694	738	782		現利用者(R2)はR1年度実績(27人)程度と見込み、R3以降は年2人(44時間)の増加を見込む。	
実人員		人	年間実績	24	26	27	26	-	-	27	29	31	33				